



◎第八回定期會員總會並評議員會

五月十二日本會第八回定期會員總會並評議員會を東京市麴町區永樂町東京銀行俱樂部に開いた出席者は澁澤顧問、水野會長、内田副會長、山田、松木、牧、村井各理事、内藤監事、阪本貴族院議員、次田土木局長、長岡中將、中野金次郎、矢野亮一、垣見八郎右衛門、若林成昭、島重治、曾山親民、伊藤武彦、村松恒一郎、近新三郎、岡野昇、橋本圭三郎、丹羽七郎、中川吉造各評議員、近藤仙太郎氏であつた。午後三時四十分水野會長來會の勞を謝し便宜上會員總會並評議員會を併合して開會することを宣し。次で本會創立以來道路改良の必要を唱導して來たが追々とその改良が實

現され日一日と良好な道路になつて來て鋪裝道路も略完備され帝都ばかりでなく、京濱、阪神の道路を始め各府縣道も時運の趨勢に伴つて一步步と堅實な改良計畫を樹立することになつた。要するに諸君の盡力が大いに預つてゐるのである。今後も益々道路改良に力を盡されんことを望む旨を述べ、次で次田土木局長から前年度事務の概況を演述し、小島幹事別項事務報告を朗讀す、次に山田常務理事は前年度經理の概況から現在に亘りて會計の狀況を説明し、昭和二年度歳入出豫算及特別會計歳入出豫算の概要を説明したが、一、三の質問があつて原案を可決した。因に大正十五年昭和二年一般會計決算總收入金四萬三千九圓三十二錢、總支出金八千三百三圓九十一錢であつて差引次年度繰越資金三萬四千八百五圓四十一錢（銀行預金）である、特別會計總收入金二萬五千五百八十圓三十九錢、總支出金二萬五千五百八十圓三十九錢である、尙ほ昭和二年度一般會計歳入金二萬六千五百圓歳出金二萬六千五百圓であつて特別會計歳入出とも二萬六千六百五十七圓である、當日の事

務報告は左の通りである。

大正十五年、昭和元年度事務報告

大正十五年 度ニ於ケル事務ノ概況ヲ報告スルコト左ノ如シ
昭和元年

調査事業ニ關スル件

道路改良ニ必要ナル法制財政經濟及技術ニ關スル各般ノ調査ヲ遂ク以テ斯界ノ進展ニ寄與スルノ極メテ必要ナルヲ認メ大正十四年度ニ調査部ヲ設置シテ以來鋭意之ガ調査ニ盡ス所アリシガ輕易ナル路面舗裝ノ調査ト山陽道改良計畫ノ調査ハ略其ノ完成ヲ見ルニ至リタルヲ以テ近ク之ガ成案ヲ發表スル所アルベク之ニ依リテ地方農村ノ開發上必要ナル道路ノ改良ニ資スル所多大ナルモノアルベシ其ノ他各科ノ擔任ニ屬スル事項ハ未ダ調査ヲ完了スルニ至ラズト雖引續キ其ノ進捗ヲ圖リツ、アルヲ以テ所期ノ目的ヲ達成スル邊キニ非ズト信ズ

第三回道路職員講習會ニ關スル件

道路職員ノ智能ヲ啓發スル目的ヲ以テ客年八月十日ヨリ十日間ニ亘リ第三回道路職員講習會ヲ開設シ聽講者百四十名ニ對シ道路行政及道路技術ニ付教授セル外科外講演ヲ爲シ又實地見學ヲ爲サ

シムル所アリタリ是等聽講者ガ各任地ニ歸リテ之ヲ實地ニ應用スルニ至ラバ道路改良ニ資スル所蓋シ尠シナラザルベシ尙聽講スル能ハザリシ者ノ爲ニ不日講演筆記ヲ印刷シテ廣ク一般ニ頒布スル見込ナリ

道路改良講演會ニ關スル件

前年度ニ於テ北海道支部ト協力シ道路改良講演會ヲ開催スル所アリシガ北海道支部ハ尙之ヲ以テ足レリトセズ更ニ浦河、根室、稚内、岩見澤、留萌、俱知安及江差ノ各地ニ講演會ヲ開催スル爲本會ノ協力ヲ要請シ來リタルヲ以テ之ヲ援助シ岩澤幹事ヲ派シテ講演ノ任ニ當ラシメタリ

茨城縣支部ニ於テモ縣内三十二箇所ニ亘リ道路愛護講演會ヲ開催スルヲ以テ本會ノ援助ヲ求メタルニ依リ武井幹事ヲ派シテ講演ニ當ラシメタリ聽講者延人員七萬四千ニ達シ同縣下道路改良ノ促進ニ多大ノ好果ヲ收メ得タリ

道路叢書刊行ニ關スル件

道路改良事業ノ實現ヲ期スルニハ事業費並財源問題ヲ解決スルノ極メテ必要ナルモノアリ方今道路改良ノ振ハザルモノアル之ニ基因スルコト勸ナカラス固ヨリ是等ノ調査ニ關シテハ調査部ニ於テ攻究中ニ屬スト雖受益者負擔金制度ガ有力ナル資源タルヲ失ハ

ズ從テ之ヲ運用ノ妙ヲ盡スノ必要アルモ我邦ニ於テ之ニ關スル良著抄ナク爲ニ當路者ガ其ノ運用ニ惑フノ憾アリシヲ以テ之ニ關スル叢書ヲ刊行シタルニ世上多大ノ歡迎ヲ受ケ豫定ノ效果ヲ收メ得タリ

雜誌發行狀況ニ關スル件

機關雜誌「道路ノ改良」ハ卷ヲ改ムルコト茲ニ九回ニ達シ其ノ内容モ亦漸ヲ逐フテ完備シ出版部數七千ヲ超過スルニ至リ斯界稀ニ見ル好況ヲ呈スルニ至リ今ヤ路政並道路技術ニ關スル權威アル冊子トシテ多大ノ歡迎ヲ受ケ我邦道路ノ改善ニ貢獻スル所尠ナカラズ將來益内容ノ充實ト其ノ改善ニ留意シ以テ所期ノ目的ヲ達成セシトス

會員及贊助員ノ狀況ニ關スル件

本會々員ハ現在三百十八名ニシテ前年ニ比シ三名ヲ減シ贊助員ハ神奈川、兵庫、廣島ノ各地ニ於テ多數ノ退會者ヲ見タリト雖贊助員ノ少ナカリシ千葉、石川、福井、熊本ノ各地ニ於テ一地方多キハ三百餘名ノ入會アリ其ノ結果前年ニ比シ二十五名ヲ増加シ現ニ二千七百五十四名ヲ有スルノ狀況ナリ

交通會議ニ關スル件

交通會議ヲ開催シ都市交通ニ關スル諸問題ヲ攻究スル計畫ヲ以テ其ノ準備ニ着手シタルモ本年度ニ於テハ遂ニ開催ノ運ニ至ラザリシガ幸ニ其ノ準備成リタルヲ以テ新年度早々之ガ實現ニ力メ會員各位ノ期待ニ副ハムトス

◎牧野幹事歸朝

萬國道路會議に出席の序を以て歐米各國を視察中であつた、本會幹事内務技師牧野雅樂之丞君は、豫定の通り去る十二日大洋丸で歸朝した、例の樂天式の態度で別に變つた所もない、留守中に生れた君の後繼者令息を片手に抱へて滯外中憧れた家庭愛に浴しながら記者に語つた。

道路會議の問題は既に内地新聞雜誌に報導されてゐる通りであつて事新しく説明する必要はないが、各國が自動車の發達に對應して嶄新な道路工法の發見に苦心してゐるのは事實であつて、我が國技術家が苦心してゐると餘り大差はない、舗裝道路も各地で随分澤山に拜見した、東京市道路のやうな膏藥張り舗裝道路は尠いが、技術上之と言ふ新らしいものも亦見受けない、結局舗裝道路の完成は技

術上の問題では無くて財政上の問題に歸着するのであると言つてゐた。

歐米道路の細見談は、何れ本誌を逡して讀者に報告することを約したから夫れに依つて御土産談を聞くことゝするが、氏の漏す所に依るとセメント殊に道路に使用するものに就て、調査研究されたい我國道路技術の上に、その新らしい意見を應用して貰ひ度いものである。風説に依ると君は北海道廳土木部に轉勤の内交渉を受けて之を斷つたと言ふことである。北海道の草深い開拓道路の爲に君を北海道に送る程夫れ程日本の道路技術家は豊富ではない、道路技術に關し一見識を有する君が更にセメントの研究に依つて、更に新らしい試を行はむと目論見てゐる矢先に北海道行きを獎勵するのは、餘りに人の能力と其の利用方法を知らない考へ方である、本人も斷つたらしいから餘りに言はないが、今のとき餘り無理な人事行政は考へて貰はなければならぬ、マ―社會には眼があるから、君も落附いて我が路政の爲に盡して貰ひたい(た)

◎阪神國道の竣工式

五月十八日午前十一時、東洋一と號する阪神新國道の工事竣工式が、大阪、兵庫兩府縣聯合主催の下に國道の中心地である武庫川清流の邊で盛大に舉行された、朝來雨模様であつたが、何分阪神兩都市をつなぐ大國道の竣工式であるから、折柄の雨をも物ともせず集る者が多かつた、内務大臣は地方長官交迭騒ぎの爲に出席されなかつたが、其の代理として潮地方局長が出席され、朝野の來賓及關係者約千二百餘名參列した、定刻振鈴と共に一同着席したが招待した中川大阪、山縣兵庫の兩知事が前日發表された地方長官の大更迭で知事として參列しなかつたのは何となく浮草稼業の悲哀を感じしめた、吉村大阪府内務部長と佐藤兵庫縣學務部長とが夫々兩府縣の知事代理として玉串を捧げ式辭を讀んで無事式を閉することを得た、一同對岸に設けられた園遊會場で大園遊會が催された、午後二時からは數百臺の自動車を列ねて、雨に洗はれた坦々たる國道を西

へ神戸までドライブして、オリエンタルホテルで神戸市長の茶菓の招待を受けた、更に午後三時から、大阪中の島中央公會堂で浪花節、ダンス餘興で大饗宴が開かれ、一同盃を舉げて、新國道の完成を祝福した。

新國道は幅員十五間、延長六里二十八町、中央には路面電車が敷設せられ、工費金二千萬圓で八ヶ年の長日子を費し、大阪、兵庫兩府縣當局の努力に依て、完成せられたものである、本會よりは特に都筑幹事を派遣し、會長の祝辭を代讀せしめた、當時吉田奈良丸が作つた浪花節と、祝詞を左に紹介する。

餘興場に於ける浪花節

世の中に道數あれと人の行く

みちは誠の一とすぢにして

誠は天の道ぞかし是れを誠にするは人の道とかや

道しばらくも離れては道にあらずとうべなるぞ

人に五倫の道ありき仁義忠孝基として

國利民福はかるため千代の古道新らたにし
昨日にかわるアスファルト大正昭和にまたがりて
造りかためし津の國の五畿七道に比ひなき
日本一の大國道東に浪花の大都會

西に神戸の大湊連鎖は虹の如くにて

鏡みの上をなめらかにすべる心地に行き通ふ

弓手や馬手の眺めあり淀の川水ゆるやかに

つきぬ流れにかけわたす四百二間の大橋は

帝國一の誇りあり名所古蹟も大和田の

千舟百舟よる浪に身をまかせつゝ釣糸の

心細くも世を渡る大公望の思ひ出や

判官松の古しみを思ひ浮べて浮島を

風のまにまに佃島神功皇后が凱旋の

御舟迎へし津門の濱左門殿川の左門橋

今は昔の戸田氏が民あはれみし仁政や

大物主の命よりゆかりも深き浦濱を

大物浦と義經の戦かたりに開へたり

いらか連れし尼ヶ崎烟を天にみなぎらし

朝な夕なに絶間なく商工業の發達は

阪神間の樞要地遙かに見ゆる甲山

其の頂きの神功寺攝津五山の一と聞く

青葉涼しき立花や尾濱に續く庄下川

無花果園の廣々と遊ぶ童の賑はしや

東洋一のグラウンド數十萬の猛り男が

優勝争ひきほひ立ち人波寄する甲子園

之にも増して勇ましきひづめの音や砂けむり

いなゝく聲に打つむちのくつば並べてりん／＼と

音に鳴尾の競馬場いちこつむ手ぶりもやなし

たをやめの土産には重ししづの籠やがて今津や

西の宮戎の社ぬかつきて廣田の宮の

花つゝじ芦屋の里にさき匂ふ汐見櫻や

岡本の梅の花笠ぬい初めし春告鳥も

いつしかに空も霞みてうすきぬをかけてと

さげぶ時鳥月の御影や住吉の四季の眺めは

二樂莊仰げば高し摩耶六甲千古つらぬく

深か緑り法りの御山の朝風に袂をゆらぐ

カーナルカーは是れ文明の賜ものぞ海路はるかに

見渡せば墨繪に畫く淡路島茅葺の浦輪の

眞帆片帆浪から浪に入る千鳥千鳥足ふむ

灘の水酒の機嫌にうら／＼と笑ふ門邊の

福原や和田の柳に清盛のときめくさまの

しのばれて兵器兵糧納めにし武庫や兵庫の

名もゆかし嗚呼忠臣は湊川神に縁りの

武庫川の千代呼ぶ松の下蔭に萬の神を招き祭り

最と嚴かに竣工の御儀式目出度行はれ

其直會ひを浪花江の公會堂にひかされて

數ならぬ身の奈良丸があしの浪花の語り草

聞こしめされて諸共に府縣の幸を祈るなれ

御國の榮え祈るかしこさ

祝 辭

二號國道阪神間改築工成ルヲ告ケ本日茲ニ竣工ノ式ヲ舉グルニ連

フ

由來阪神ノ兩市ハ商工業地トシテ夙ニ重要ノ位置ヲ占メ殊ニ我國

經濟中心地タル大阪市ト貿易ノ要衝タル神戸港ノ發展ト相俟テ兩市ノ關係益々緊密ヲ極メ兩市ヲ聯絡スル鐵道軌道ノ如キ殆ト他ニ比儔ヲ見サルノ觀アリ憾ムラクハ自由交通ニ供スヘキ道路ノ施設尙未タ完キヲ得ス兩市間交通ノ幹線タル本道路ノ如キ舊態依然トシテ構造粗惡ヲ極メ近代交通ノ要求ニ應スル態ハサルノ狀態ニ在ル久シ今乃チ關係府縣ノ協力ト政府ノ補助トニ依リ工ヲ積ム九年費ヲ費ス約二千萬圓茲ニ新式善美ナル道路ノ完成ヲ見ルニ至ル念フニ今後之ニ依リテ兩市ノ進展ニ寄與スルモノ極メテ大ナルモノアルヘク其ノ經濟上ニ及ホス利益舉テ數フヘカラサルモノアラン冀クハ將來之カ維持管理ニ最善ヲ竭クスト共ニ更ニ進テ市内接續道路ノ完備ニ力ヲ致シ長ヘニ其ノ利ニ賴ラムコトナ一言ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和二年五月十八日

內務大臣 鈴木喜三郎

祝 辭

二號國道大阪神戸間改築工ヲ竣ヘ本日茲ニ竣功ノ式典ヲ舉ケラル邦家ノ爲寔ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

抑モ本區間ハ我國商工業ノ中樞タル阪神兩市ヲ連繫スル重要ナル使命ヲ有スルニ拘ラス路幅狹少ニシテ屈曲多ク路面亦脆弱ニシテ近代交通ノ要求ニ適應セス爲ニ之ヲ遺憾トスルヤ久矣大阪兵庫兩府縣當局深ク茲ニ鑑ミテ改築ノ工ヲ進メ今乃チ其ノ工成ルニ會ス願フニ阪神間ノ交通ハ今後之ニ依テ其ノ面目チ一新スルノミナラス沿道各市町村ノ發展ヲ招來シ來テ帝國文化ノ隆運國力ノ伸張ニ資補スル處蓋シ極メテ大ナルモノアルヘキヲ疑ハス本會道路改良ノ必要ヲ唱道スル茲ニ歲アリ今此ノ盛儀ニ會シテ努力ノ空シカラサルヲ喜ヒ衷心ノ祝意禁スル能ハサルモノアリ冀クハ進テ維持管理ニ力ヲ竭クシ永ニ其ノ効果ヲ完フセラレムコトナ一言ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和二年五月十八日

道路改良會長 水野鍊太郎